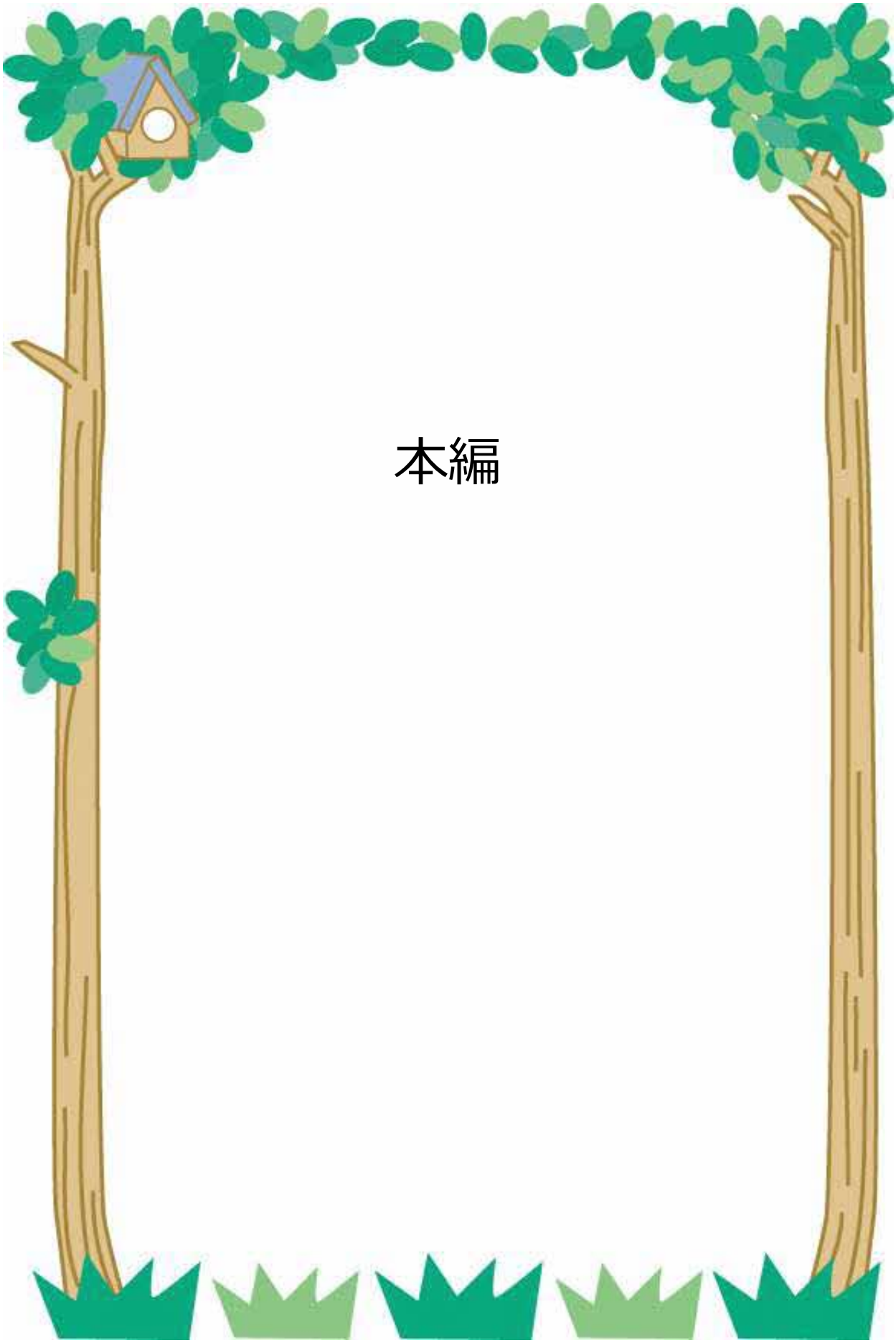


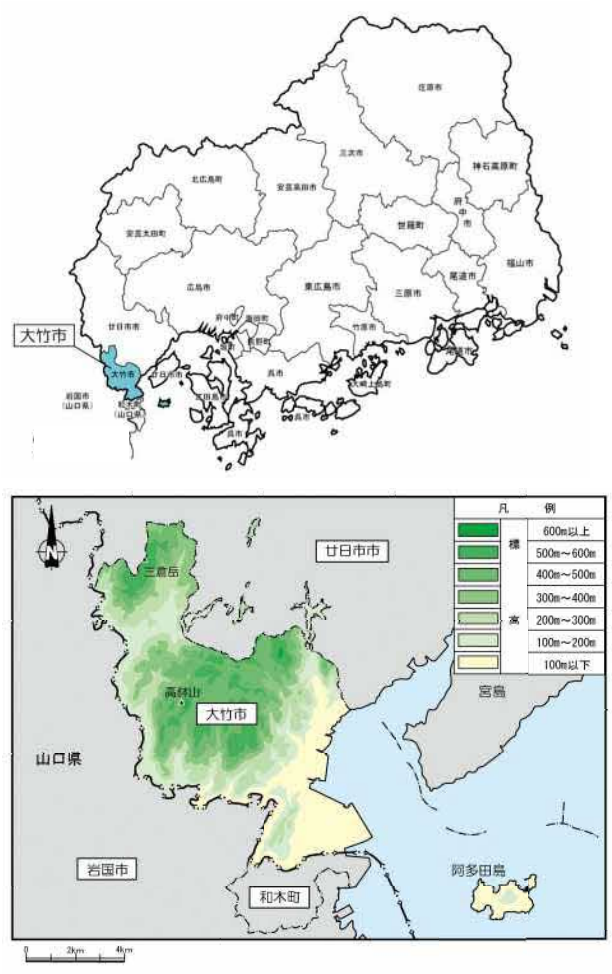
本編

第１節　自然的環境

１　地形・地質

本市は、広島県の西端にあり、面積は 78.66 k ㎡で、広島県の約 0.93%を占めています。地形は、100m以上の山地が大部分を占め、平坦地は沿岸部の埋立地などを中心に分布しています（図表 1-1-1）。地質は、花崗岩質岩石が大部分を占め、三倉岳にみられるような露岩が各地にあります。

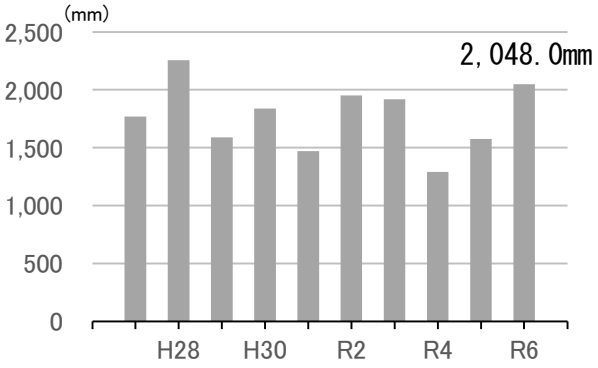
■図表 1-1-1　位置図及び地勢図



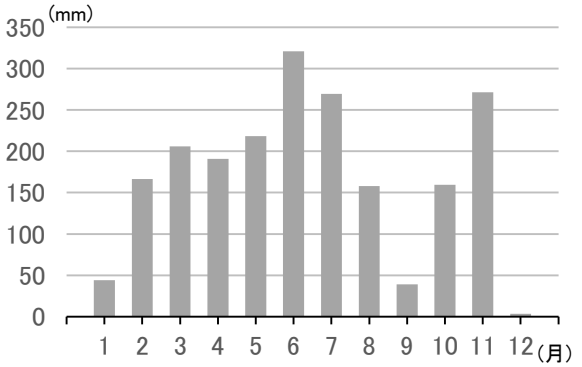
２　気象

気象は、年間を通して温暖で雨の少ない瀬戸内海式気候です。ここ 10 年間の年間降水量は 1,500～2,200㎜ 程度、平均気温は 16～17℃程度です（図表 1-1-2～1-1-5）。

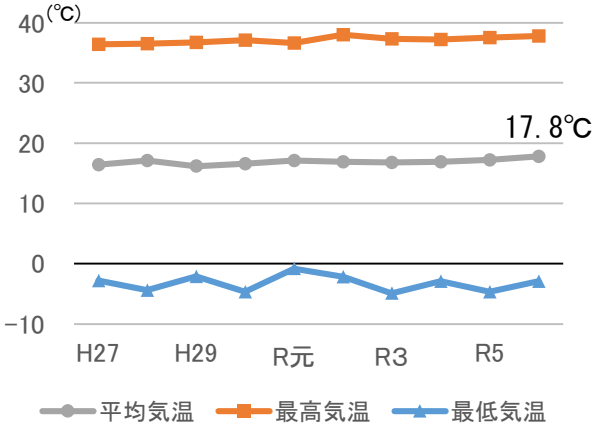
■図表 1-1-2　年間降水量の推移



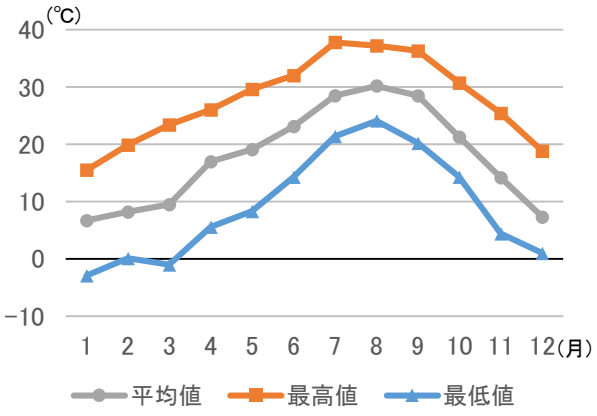
■図表 1-1-3　月別降水量（令和６年）



■図表 1-1-4　平均、最高及び最低気温の推移



■図表 1-1-5　気温の経月変化（令和６年）



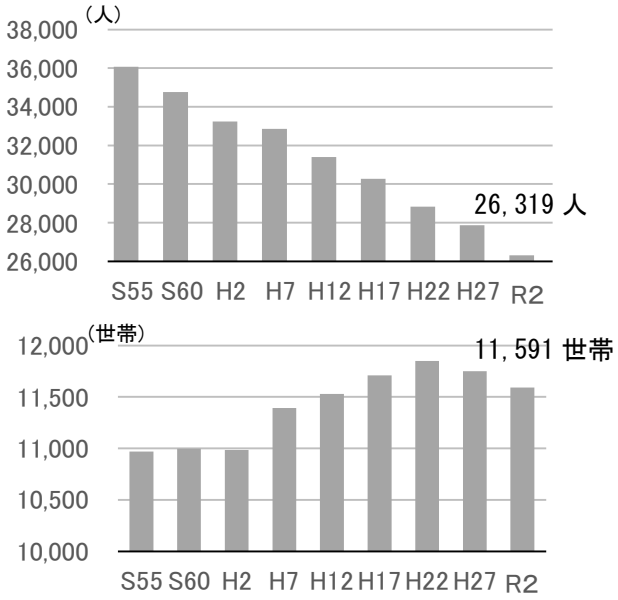
〔資料：気象庁ホームページ〕

第２節　社会的環境

１　人口と世帯数

令和２(2020)年 10 月１日現在（国勢調査）の人口は 26,319 人、世帯数は 11,591 世帯であり、世帯あたりの人口は 2.27 人と世帯規模は依然減少し続けています。

■図表 1-2-1　人口及び世帯数の推移



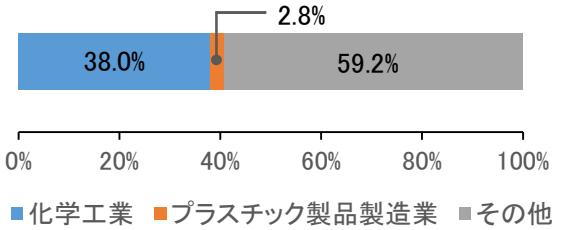
〔資料：国勢調査〕

２　産業

（１）製造品出荷額

製造品出荷額は約 2,717 億円で、化学工業が全体の約 38%を占めています（図表 1-2-2）。

■図表 1-2-2　製造品出荷額の割合



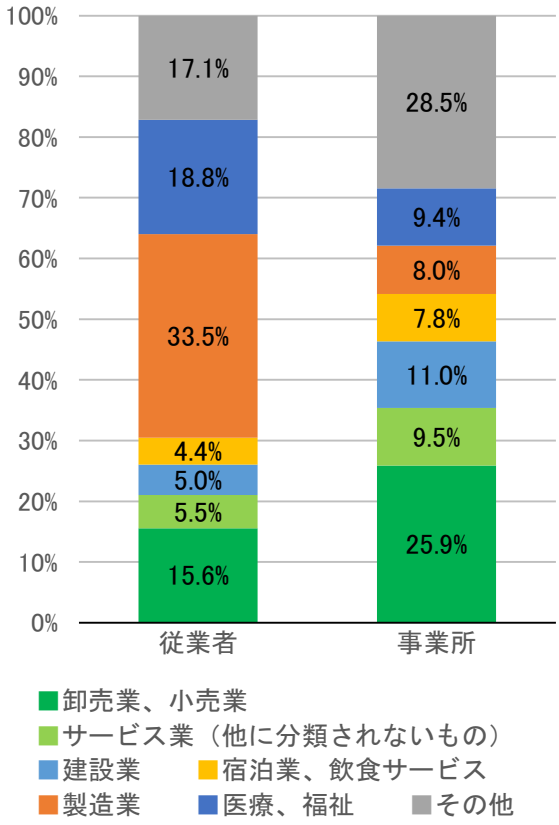
〔資料：2024年経済構造実態調査 製造業事業所調査〕

注）繊維工業の製造品出荷額など、事業者が特定されるものについては、秘匿処理されています。

（２）産業（中分類）別従業者数、事業所数

令和３年経済センサス活動調査によると、公務を除く全産業の従業者数は 12,942 人、事業所数は 1,040 事業所であり、その内訳は図表 1-2-3 のとおりです。

■図表 1-2-3　従業者、事業所の割合



〔資料：令和３年経済センサス-活動調査〕

３　上下水道

過去５年間の給水量は、給水人口の減少に伴って減少傾向にあり令和６年度は約 307 万㎥となっています。下水道の普及率は、令和６年度は 95.7%となっています。

■図表 1-2-4　上下水道の状況（令和７年１月現在）

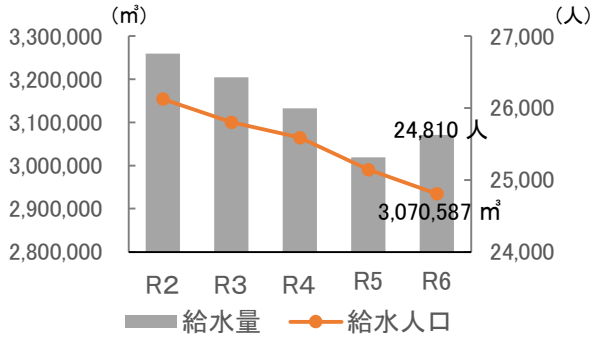
上水道

給水人口	24,810 人
給水戸数	12,511 戸
給水量	3,070,587 ㎥
配水総量	3,641,692 ㎥
配水１日平均	9,950 ㎥

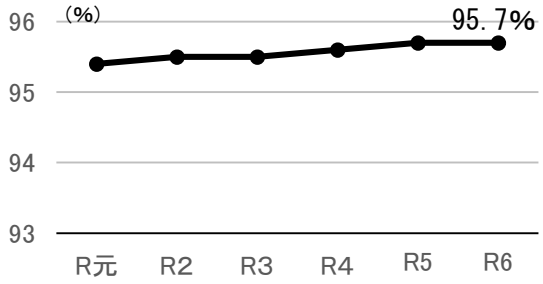
公共下水道

処理人口	24,121 人
下水道供用面積	720ha
人口普及率	95.7%

■図表 1-2-5　上水道の状況



■図表 1-2-6　下水道人口普及率

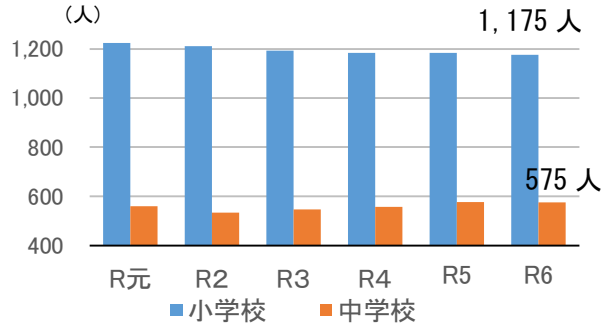


〔資料：大竹市上下水道局〕

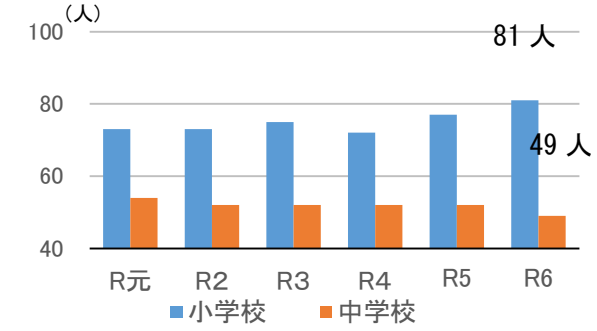
４　学校

令和６年５月１日現在の学校数は、小学校４校、中学校３校で、児童数は 1,175 人、生徒数は 575 人です。また教員数（本務者）は小学校が 81 人で中学校が 49 人です。

■図表 1-2-7　児童及び生徒数の状況



■図表 1-2-8　教員数の状況



〔資料：学校基本調査〕

５　公園緑地

公園・緑地の状況は，図表 1-2-9 のとおりであり、面積は全体で約 29ha です。

■図表 1-2-9　本市における公園緑地の状況

区分	箇所数	面積（ha）
近隣公園	1（さかえ）	2.29
地区公園	1（亀居）	7.32
街区公園	55	4.96
都市緑地	1（中浜）	1.46
総合公園	1（晴海）	12.76

〔資料：大竹市都市計画課〕

６　土地利用

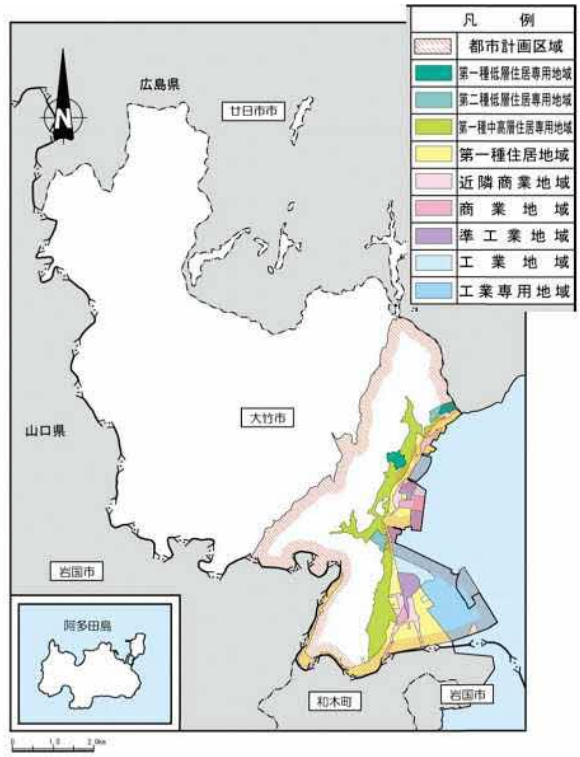
本市における都市計画区域及び用途地域の指定状況は、図表 1-2-10 及び図表 1-2-11 のとおりです。工業専用地域、工業地域、準工業地域に隣接した住居地域が多くあります。

■図表 1-2-10　本市における都市計画区域及び用途地域面積

区分	面積（ha）
都市計画区域	2298.2
市街化区域	979.8
第１種低層住居専用地域	23.0
第２種低層住居専用地域	27.0
第１種中高層住居専用地域	238.8
第２種中高層住居専用地域	—
第１種住居地域	262.7
第２種住居地域	—
準住居地域	—
近隣商業地域	55.2
商業地域	24.1
準工業地域	60.7
工業地域	34.0
工業専用地域	254.3

〔資料：大竹市都市計画図〕

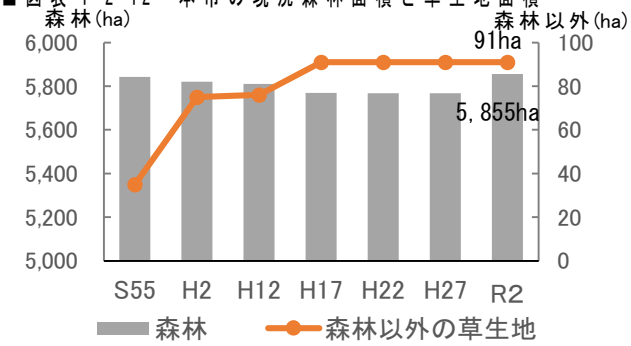
■図表 1-2-11　本市の都市計画区域及び用途地域指定状況図



7　森林

現況森林面積は減少し、森林以外の草生地が増加傾向にありますが、ここ 10 年は変動が見られません（図表 1-2-12）。

■図表 1-2-12　本市の現況森林面積と草生地面積



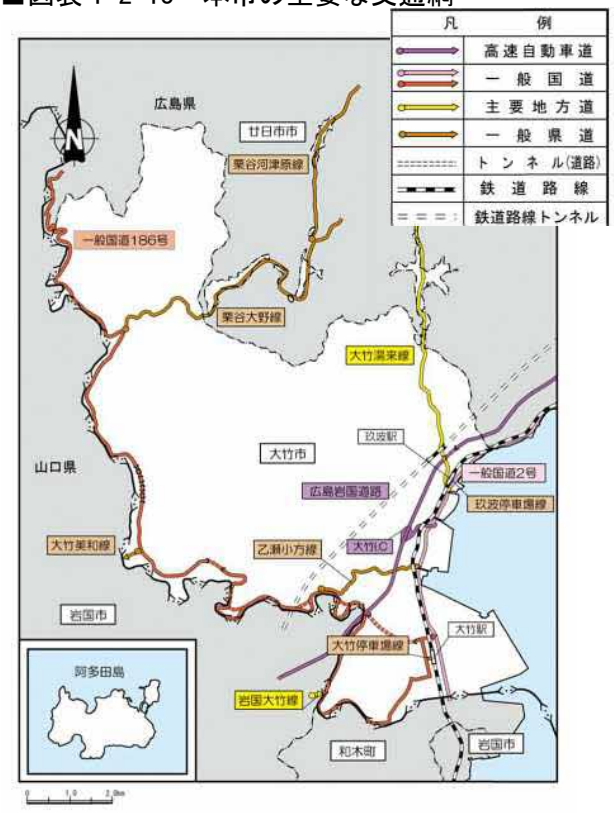
〔資料：2020 年農林業センサス〕

8　交通

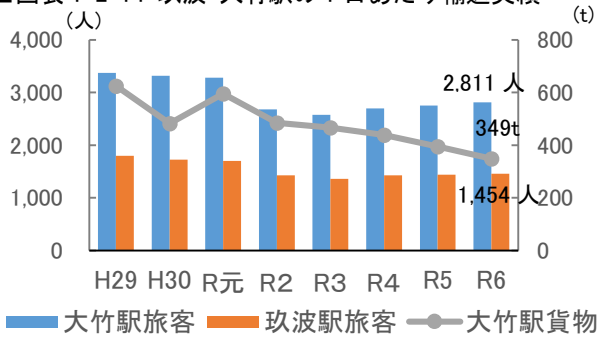
主要な交通網は、JR 山陽本線、山陽自動車道（広島岩国道路）、一般国道 2 号などがあります（図表 1-2-13）。JR 山陽本線の旅客乗車人員は、大竹駅、玖波駅ともにここ数年は横ばいとなっています。また、大竹駅では約 350t の貨物を扱っています（図表 1-2-14）。

令和 3 年度の 24 時間交通量は、平成 27 年度と比較すると、山陽自動車道で約 2,000 台の減少となっており、国道 2 号では約 300 台の増加となっています(図表 1-2-15)。

■図表 1-2-13　本市の主要な交通網

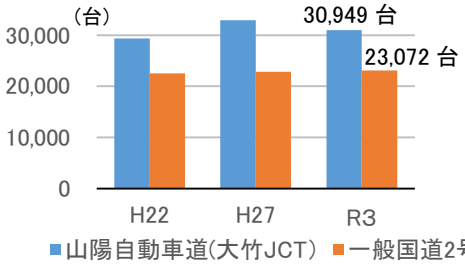


■図表 1-2-14 玖波･大竹駅の 1 日あたり輸送実績



〔資料：西日本旅客鉄道㈱中国統括本部、日本貨物鉄道㈱大竹駅〕

■図表 1-2-15　山陽自動車道と一般国道 2 号の平日自動車類 24 時間交通量



〔資料：令和 3 年度道路センサス〕